



本冊子は、建設業の新入社員が立派な社会人、建設業界人となれるよう、建設業で働く上で覚えておきたい基本的な事項を説明した入門書です。

この度、法令改正への対応や最新データへの更新など所要の改訂を行いましたので、新入社員の教育などに是非ご利用ください。

1. 本冊子の構成

第1部 社会人としての基本

- ① 社会人としての心構え
働くことの意味、仕事に向き合う姿勢、コンプライアンス、メディアリテラシーなど
- ② 自己管理
健康、ストレス、時間、お金を管理する方法

第2部 仕事の基本

- ① 職場の基本
コミュニケーション、ホウ・レン・ソウ、挨拶、身だしなみ、言葉づかい、電話対応の基本
- ② マナーの基本
名刺交換、来客時、訪問時、席次（上座、下座）のマナーの基本
- ③ ビジネス文書の基本
ビジネス文書、電子メールの書き方の基本

第3部 建設業の基本

- ① 建設産業の特徴
建設業の社会的役割、建設業の特徴など
- ② 建設業法の基本
建設業許可、現場技術者、経営事項審査など
- ③ 建設実務の基本
建設工事の関係者、土木工事／建築工事の流れ、現場管理など
- ④ 安全管理の基本
安全施工サイクル、安全標識、熱中症対策など

2. 主な改訂ポイント

(1) 技術者の専任制ほか

建設業法等の改正を踏まえて、技術者の専任制と兼務の特例の説明を修正しました。（P78～79「複数現場の兼務特例」）

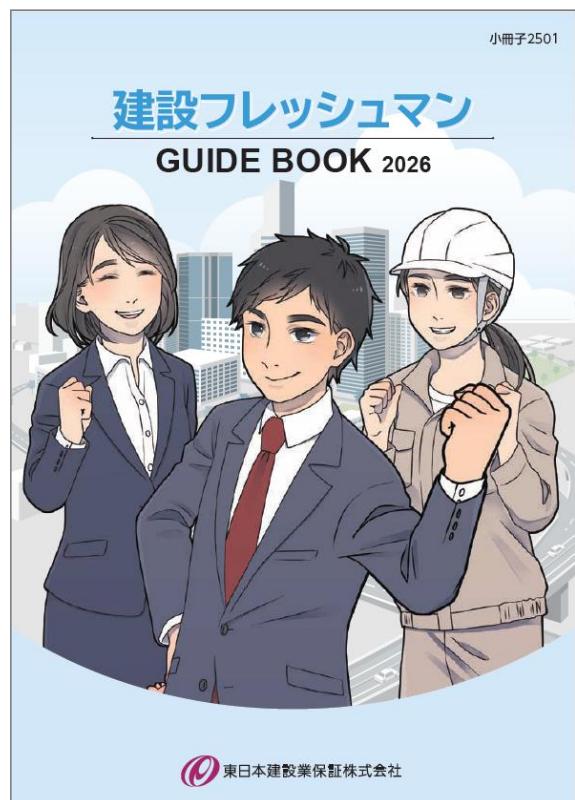
そのほか、法令改正に伴う修正を行いました。

(2) リスクアセスメント

安全活動の例として、リスクアセスメントに関する説明を追加しました。（P107「リスクアセスメントの実施」）

(3) 熱中症対策

近年の著しい夏季高温に加え、2025年6月の改正労働安全衛生規則施行により、職場での熱中症対策が義務化されたことから、熱中症対策に関する説明を追加しました。（P110～111「熱中症対策」）





本冊子は、建設業の若手技術者の成長を応援することを目的に、建設技術者が身に付けておくべき基礎的な知識や仕事内容のほか、成長段階ごとに必要とされる能力や資格などについて解説した入門書です。

この度、法令改正への対応や最新データへの更新など所要の改訂を行いましたので、若手技術者の教育などに是非ご利用ください。

1. 本冊子の構成

第1章 建設業の特徴と魅力

建設業の役割(社会基盤の下支え、地域の守り手など)、建設業の特徴(個別受注生産、現地屋外生産など)、建設工事の関係者(発注者、協力会社など)について触れながら、段取りの重要性や建設技術者のやりがいについて説明しています。

第2章 建設技術者の仕事

施工管理(品質、原価、工程、安全、環境)、技術者制度(主任技術者、監理技術者など)について説明した後、道路改良工事、オフィスビル建築工事を例に、工事の流れや各工程のチェックポイントを紹介しています。

第3章 建設技術者のスキルアップ

建設技術者が身に付けるべきスキルを「新入社員期(1年目)」「基礎形成期(2~3年目)」「成長期(4~6年目)」「自立期(7~10年目)」「発展期(11~20年目)」の段階ごとに示すとともに、施工管理技術検定について紹介しています。

第4章 これからの建設業

建設現場の労働力不足・高齢化の現状について説明した後、i-Construction、インフラ分野のDXなど生産性向上の取組、週休2日制、労働時間の短縮など働き方改革の取組について紹介しています。

2. 主な改訂ポイント

(1) 技術者の専任制ほか

建設業法等の改正を踏まえて、技術者の専任制と兼務の特例の説明を修正しました。(P26「技術者の専任制」)

そのほか、法令改正に伴う修正を行いました。

(2) i-Construction 2.0、インフラ分野のDX

建設業の今後をイメージしてもらえるよう、生産性向上に向けた取組として、i-Construction 2.0やインフラ分野のDX アクションプラン(第2版)に関する解説を追加しました。(P66~71「生産性向上に向けた取組」)

(3) 建設業の働き方改革

働き方改革のテーマについては、休日の拡大状況や時間外労働の上限規制など、最新の情報に更新しました。(P72~75「建設業の働き方改革」)

